

平成 27 年度事業計画書

(平成 27 年 2 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・ 第 115 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。
日時 平成 27 年 4 月 16 日～18 日
場所 名古屋国際会議場（名古屋市）
参加予定者数 12,000 名 演題数 3,061 題
テーマ「メスの限界を求めて：Breakthrough the surgical boundaries」

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・ 学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。また，平成 28 年 1 月 1 日付発行分（第 117 巻第 1 号）から，「日本外科学会雑誌」をリニューアルする。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 27 年 2 月 10 日	116	臨時増刊 1	38,000
平成 27 年 3 月 1 日	116	2	38,000
平成 27 年 5 月 1 日	116	3	38,000
平成 27 年 7 月 1 日	116	4	38,000
平成 27 年 8 月 1 日	116	臨時増刊 2	38,000
平成 27 年 9 月 1 日	116	5	38,000
平成 27 年 11 月 1 日	116	6	38,000
平成 28 年 1 月 1 日	117	1	38,000

- ・ Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 27 年 2 月 1 日	45	2	40,000
平成 27 年 3 月 1 日	45	3	40,000
平成 27 年 4 月 1 日	45	4	40,000
平成 27 年 5 月 1 日	45	5	40,000
平成 27 年 6 月 1 日	45	6	40,000
平成 27 年 7 月 1 日	45	7	40,000
平成 27 年 8 月 1 日	45	8	40,000
平成 27 年 9 月 1 日	45	9	40,000
平成 27 年 10 月 1 日	45	10	40,000
平成 27 年 11 月 1 日	45	11	40,000
平成 27 年 12 月 1 日	45	12	40,000
平成 28 年 1 月 1 日	46	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
平成 27 年 2 月 1 日	1
平成 27 年 3 月 1 日	1

平成 27 年 4 月 1 日	1
平成 27 年 5 月 1 日	1
平成 27 年 6 月 1 日	1
平成 27 年 7 月 1 日	1
平成 27 年 8 月 1 日	1
平成 27 年 9 月 1 日	1
平成 27 年 10 月 1 日	1
平成 27 年 11 月 1 日	1
平成 27 年 12 月 1 日	1
平成 28 年 1 月 1 日	2

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」に“会員のための企画”として連載中の「医事訴訟事例から学ぶ」を書籍化し、発刊する。
- ・外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行う。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の日本訪問に対応する。
- ・ 日本医学会, 日本医学会連合, 日本医療機能評価機構, 日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・ 外科系 16 学会と外科関連学会協議会を組織して, 外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して, ビデオライブラリーに収載する。
仁尾 正記（東北大学）
新保 秀人（三重大学）
金子 公一（埼玉医科大学国際医療センター）
北川 雄光（慶應義塾大学）
坂井 義治（京都大学）

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第 4 条第 5 号）

- ・ 外科専門医制度に則り, 外科専門医を認定し, 指導医を選定し, 認定登録医を登録し, 指定施設と関連施設を指定する。
- ・ 日本専門医機構に入社して, わが国の新しい専門医制度構築に建設的に取り組む。
- ・ 「外科専門医研修プログラム整備指針」を策定する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第 4 条第 6 号）

- ・ 「外科研究の利益相反に関する指針」に則り, 該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・ 第 14 回臨床研究セミナーを下記のとおり行い, ホームページで動画配信する。

日時 平成 27 年 4 月 18 日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加予定者数 500名

- ・第15回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。

日時 平成27年11月中

場所 福岡市内 参加予定者数 500名

- ・第22回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰する（5名）。
- ・第115回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに掲載して、制作補助費を支給する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給する（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給する（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討する。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第87回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成27年4月18日

場所 名古屋国際会議場（名古屋市） 参加予定者数 1,000名

テーマ「病棟主治医のための治療戦略—術後合併症と対策—」

- ・第88回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成27年11月中

場所 福岡市内 参加予定者数 1,000名

テーマ「外科標準術式—若手外科医のために—」

- ・第23回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。

テーマ「甲状腺、上皮小体、副腎の外科」

（北海道地区）

日時 平成28年1月9日

場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加予定者数 100名

（東北地区）

日時 平成27年9月19日

場所 コラッセ福島（福島市） 参加予定者数 100名

（関東地区）

日時 平成27年9月19日

場所 新宿明治生命安田ホール（新宿区） 参加予定者数 100名

（中部地区）

日時 平成27年4月29日

場所 愛知県医師会館（名古屋市） 参加予定者数 100名

（近畿地区）

日時 平成27年5月9日

場所 京都テルサ（京都市） 参加予定者数 100名

（中国四国地区）

日時 平成 27 年 9 月 12 日

場所 岡山コンベンションセンター（岡山市） 参加予定者数 100 名
（九州地区）

日時 平成 27 年 5 月 9 日

場所 ホルトホール大分（大分市） 参加予定者数 100 名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行う。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・ National Clinical Database（NCD）に参加し，外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン (Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」の運用を図り，広く周知するためにホームページで動画配信する。
- ・「外科学用語集」の改訂を行う。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・ 広報活動として，第 41 回市民講座を下記のとおり行い，ホームページで動画配信する。

日時 平成 27 年 4 月 19 日

場所 ナディアパーク（名古屋市）

テーマ「“医食同源” 腸と筋肉を鍛えて健やかな未来を」

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し，外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と，その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・ 日本医療安全調査機構に参加し，死因の調査分析事業に協力する。
- ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援する。
- ・ 日本女性外科医会と協働で，日本医学会分科会に対して，女性医師支援のアンケート調査を行う。
- ・ 手術・処置の休日・時間外・深夜加算の見直しについてアンケートを実施する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 7 号）

- ・ 代議員選任のための選挙準備を行う。
- ・ 会員の実態把握のための性別調査を行う。